

大雨による防災情報（第2報）

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制（砂防）】継続

現在、湯沢河川国道事務所では、8月9日に発生した仙北市供養佛地区の土砂災害以降、災害対策支部警戒体制（砂防）を継続しています。

基準雨量を超過した黒湯観測所近隣の先達川にある砂防施設について、本日8時30分より点検を開始し、3施設の点検を完了しましたが、異常は確認されませんでした。

◆砂防降雨状況(11月22日13時00分現在)

山系	雨量観測所 (仙北市)	最大雨量	雨量状況
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	82mm	21日17時から降雨無
	熊ノ台	37mm	21日16時から降雨無
	生保内	48mm	21日13時から降雨無
	小先達	63mm	21日13時から降雨無

※雨量超過観測所

※警戒体制基準雨量：連続雨量120mm、または時間雨量40mm

※注意体制基準雨量：連続雨量80mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防		8月9日 9時00分	—	—

◆その他

今後の防災情報にご注意ください。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-3174（事務所代表）

〈砂防〉 調査第一課長 畑山 作栄（内線351）